

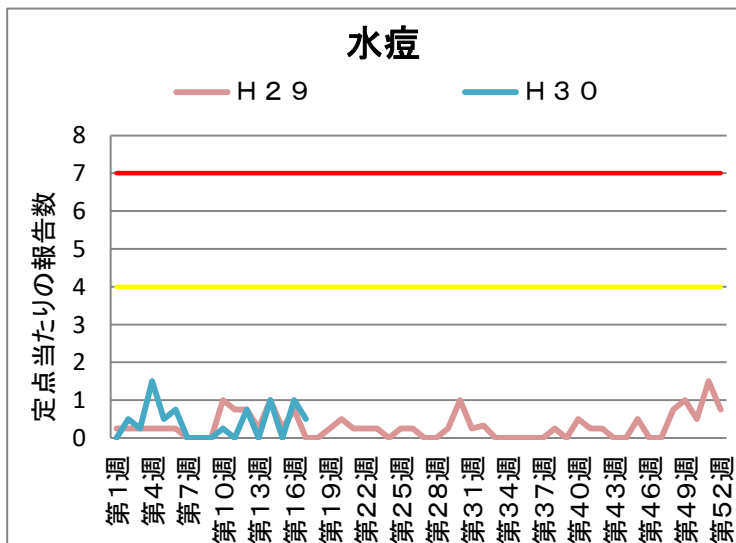
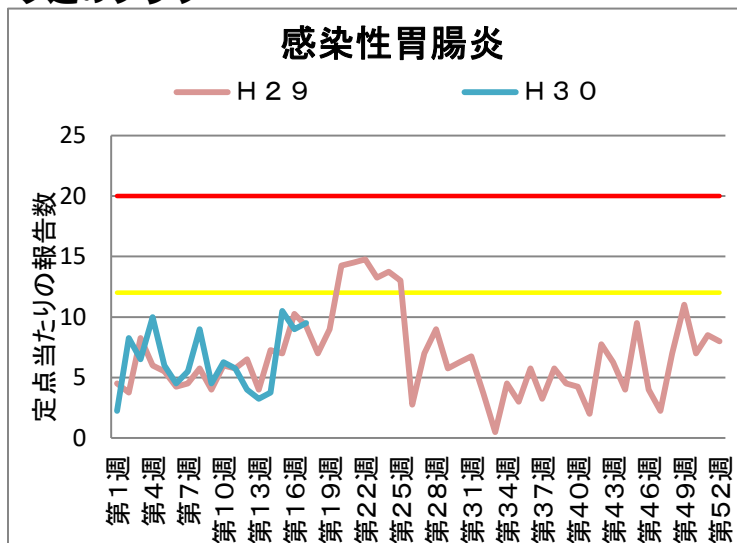
乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 17 週 平成30年4月23日 ~ 平成30年4月29日

今週のコメント

○ 乙訓地域の学校等欠席者・感染症情報システムで、水痘の報告がみられています。水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、水痘・带状疱疹ウイルスの初感染によって発疹が生じる急性感染症です。空気感染、飛沫感染、接触感染を感染経路とし、感染してから症状がでるまでの潜伏期間は約14～16日です。感染力が強く空気感染するので、保育所・保育園などで流行しやすい感染症です。水痘の予防には水痘ワクチンが有効です。水痘ワクチンの公費接種が始まる平成26年以前は、水痘の重症化により、日本で年間4000人程度が入院し20人程度が亡くなっていました。水痘ワクチンの1回の接種により重症化をほぼ100%予防でき、2回の接種により軽症も含めてその発症を予防できます(定期接種:生後12月から生後36月)。1歳になったら早めに1回目を接種し、3か月以上の間隔をあけて、標準的には1回目接種から6～12月後に2回目を接種しましょう。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	0.86	手足口病	-
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	-
咽頭結膜熱	0.25	突発性発しん	1.75
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.75	ヘルパンギーナ	-
感染性胃腸炎	9.5	流行性耳下腺炎	-
水痘	0.5		

定点当たりの報告数 = 1週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数: 7箇所、小児科定点数(インフルエンザ以外の疾病): 4箇所

参考資料等

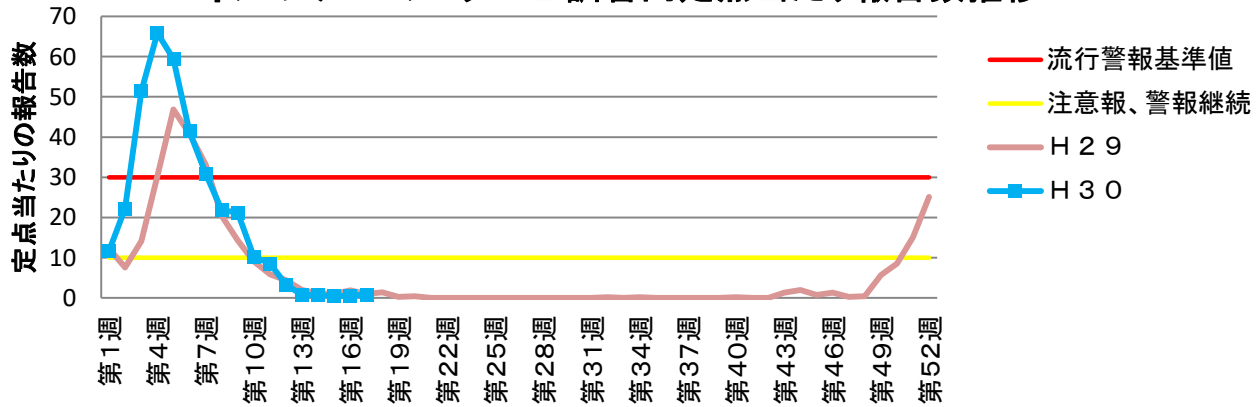
報告週対応表

警報・注意報基準値の説明

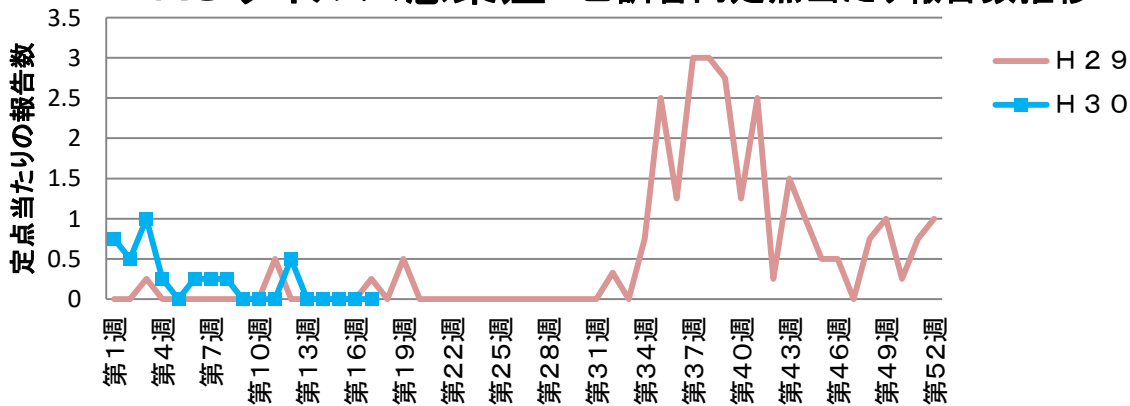
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide03.html>

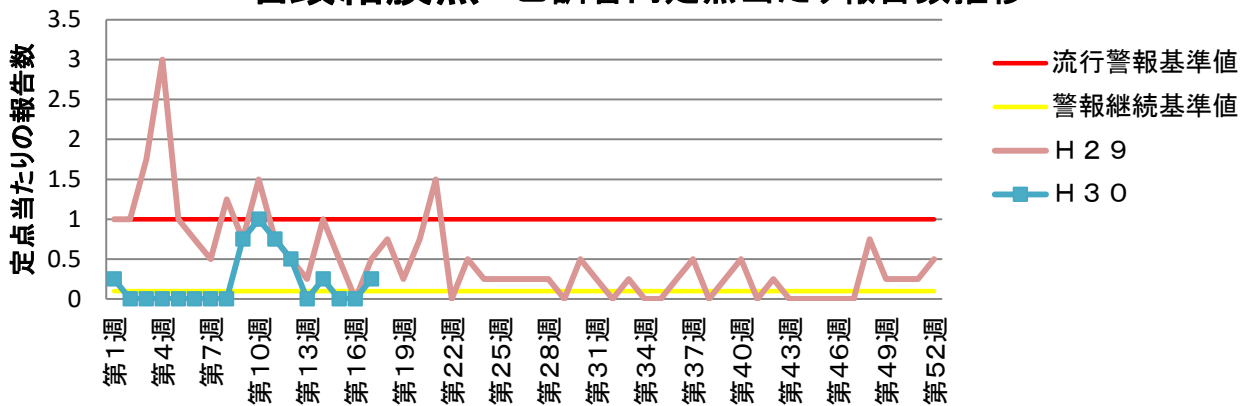
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



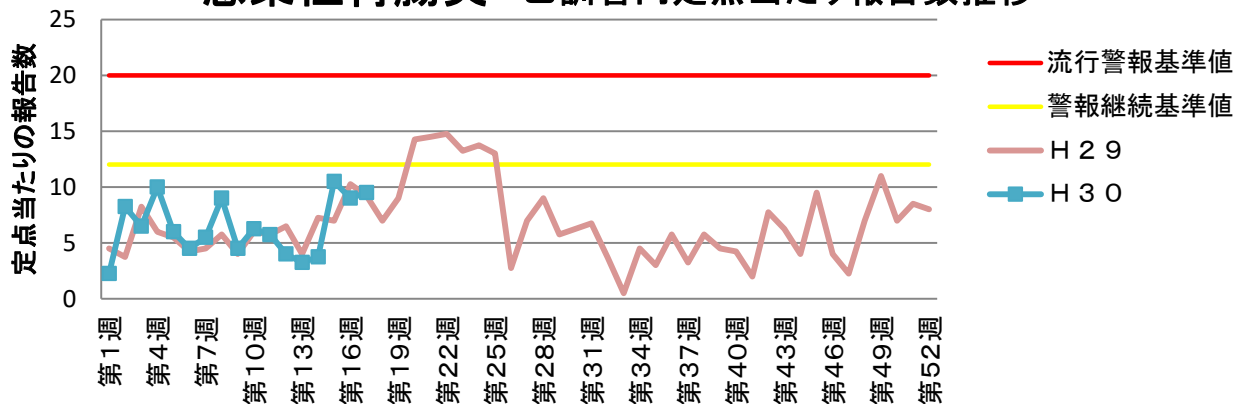
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



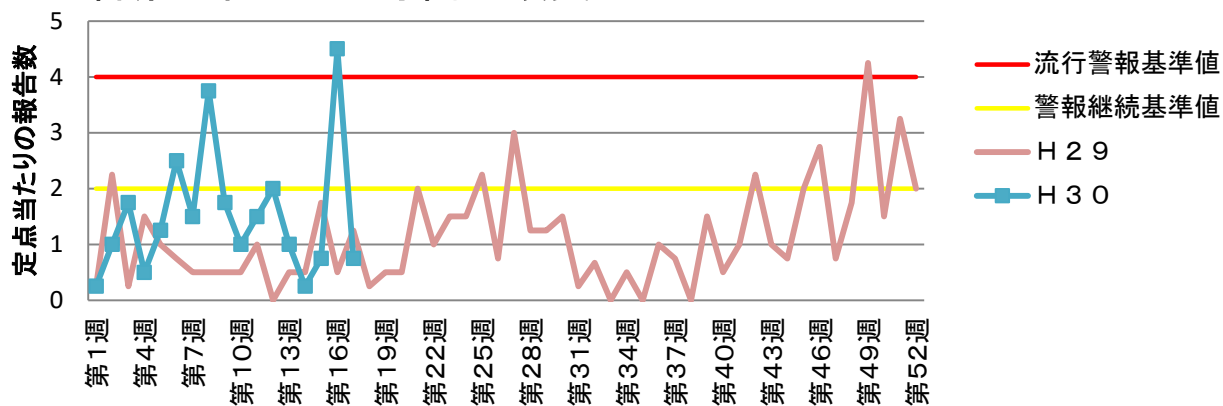
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



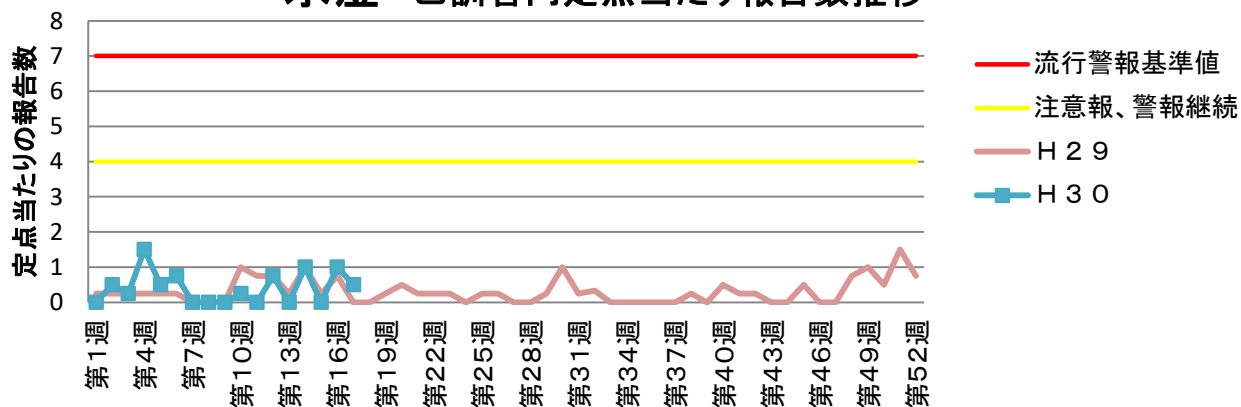
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



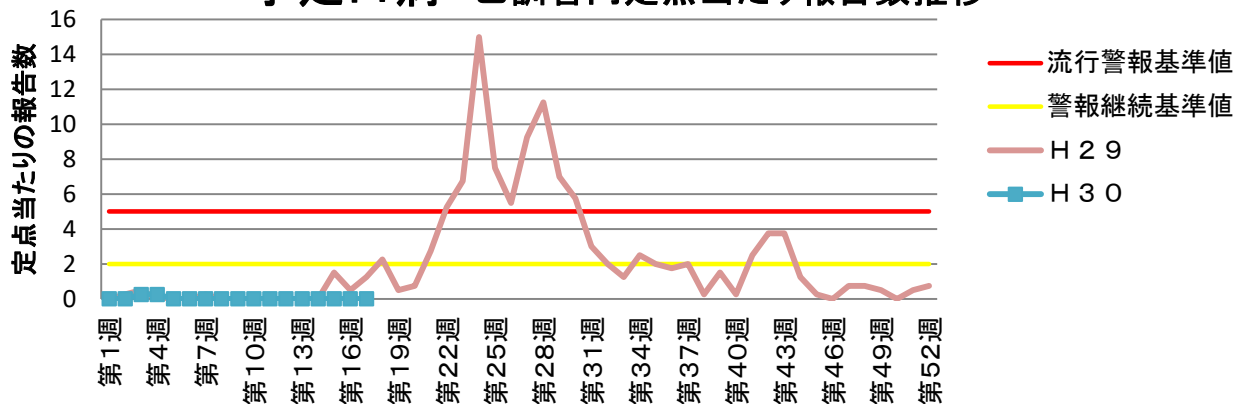
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



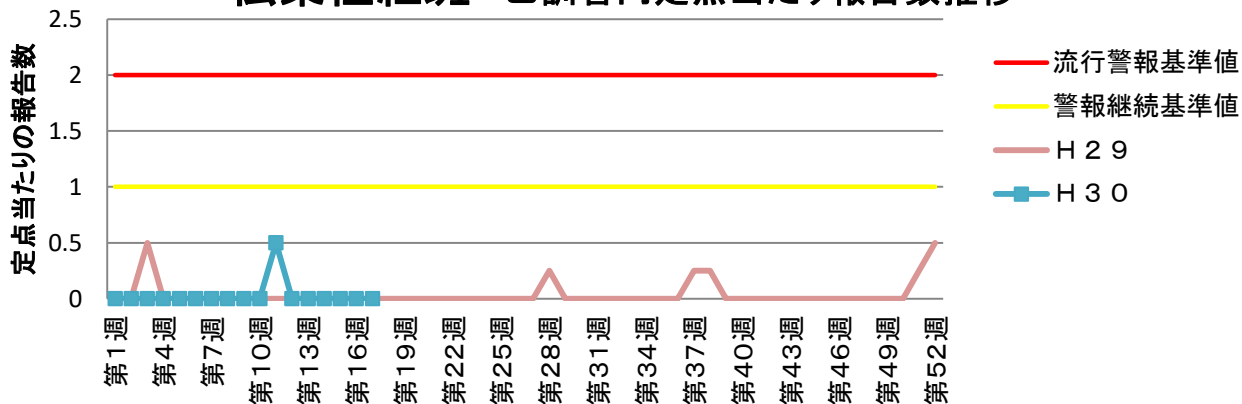
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



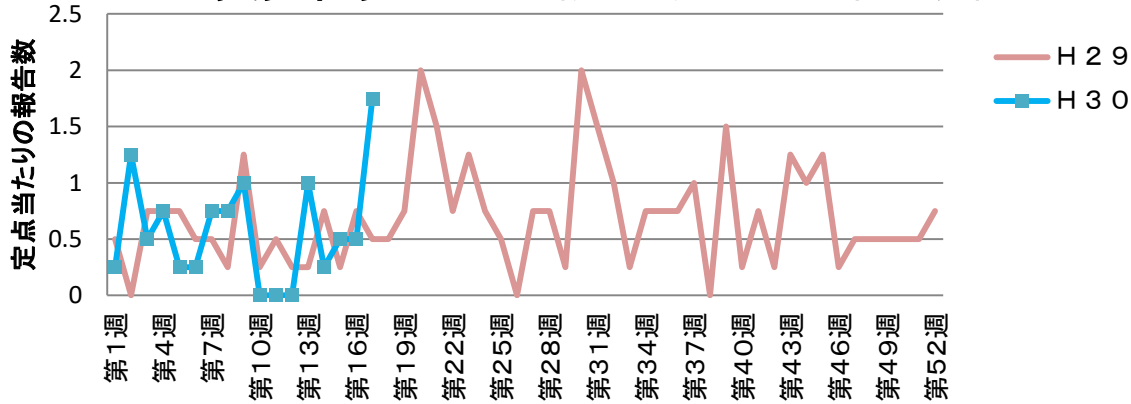
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



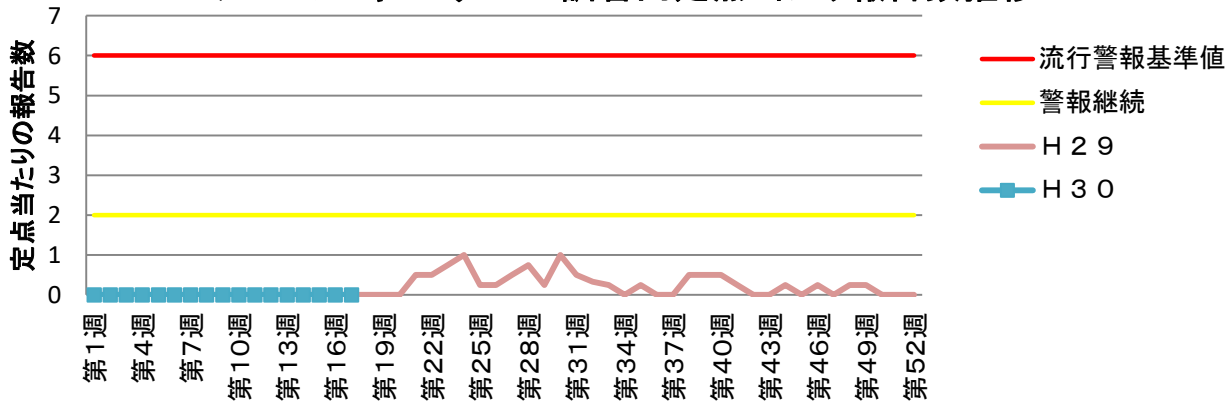
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

